

## 「水俣病と近代日本」

東日本大震災に伴う原子炉重大事故が起きたとき、ウェブやメディアで改めて思い起こされたのは、原爆が投下された広島でも長崎でもなく、「水俣」だった。利益と利便を求めめる社会的強者による比較少数者への不法行為は、因果関係が見えにくくなる中で、現在でも日々繰り返されている。日本近代化の歩みの中、水俣病事件の現在に続く経過を捉え直し、ウイルスと共存せざるを得ない時代についても考える。

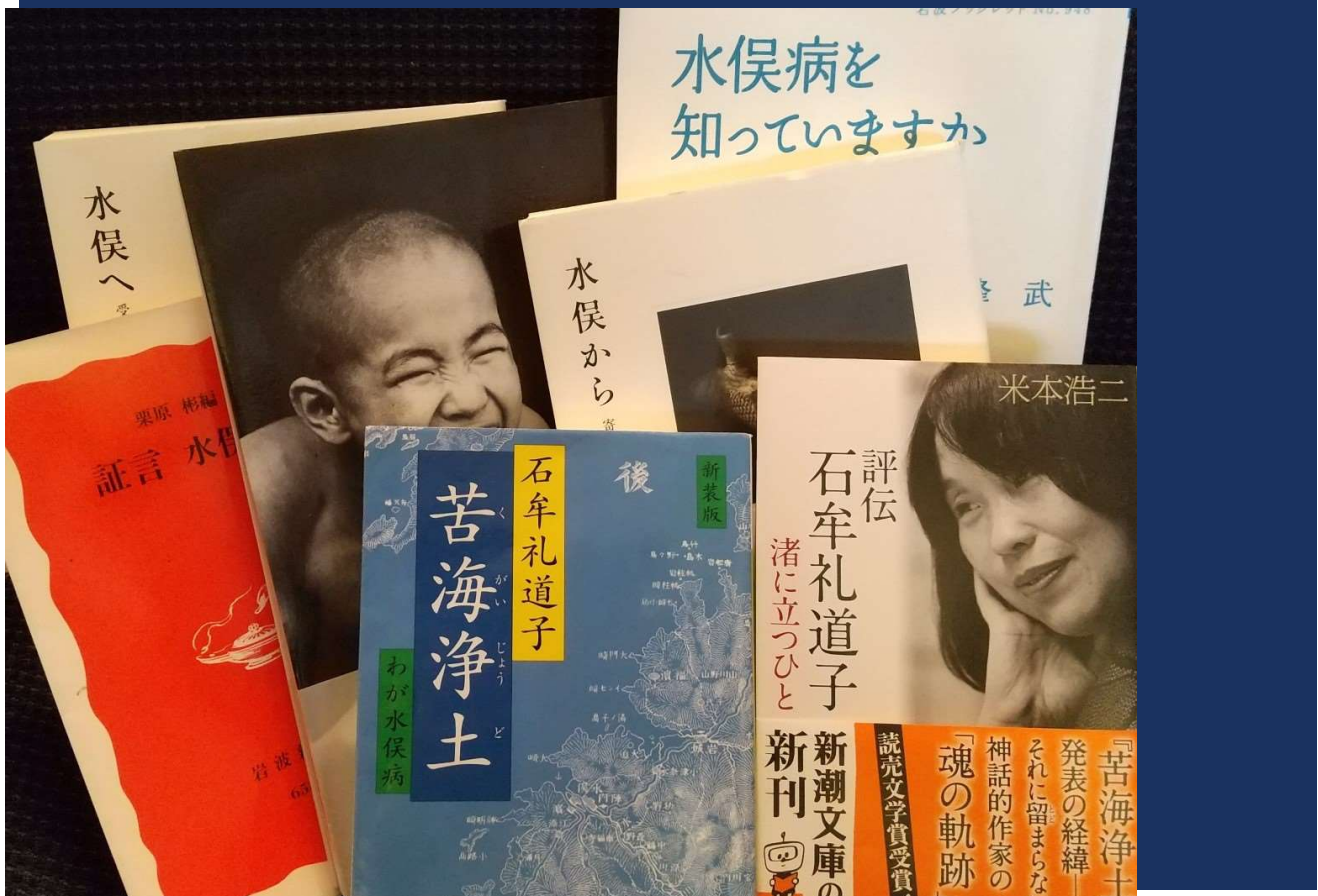
講師：実川悠太氏（認定NPO法人水俣フォーラム理事長）

じつかわゆうた 1954年東京生まれ。石牟礼道子らの呼びかけにより72年より患者支援活動に参加。水俣フォーラムの前身を92年に立ち上げる。元・編集者。石牟礼道子資料保存会理事。

日時：2020年7月14日（火）14：40－16：10

場所：津田塾大学 教室ZOOM会議 火曜4限「ジャーナリズムと文学—水俣病と石牟礼道子から考える」

- ◆ 「ジャーナリズムと文学」の講義中にオンラインで実施します。該当のURLからZOOMにアクセスしてください。また、講演者等の許可のもと、後日録画を学内公開します。学生・教職員は、「オンライン授業時間割」のサイトから視聴することが可能です。



写真：「水俣の "いま" を伝える書籍の数々」

主催 多文化・国際協力量科